

白魔に挑む

近く開かれる「除雪対策協議会」

村では、訪れる冬将軍に備えて、道路除雪、雪害防止対策をきめており、近く開かれる「除雪対策協議会」(各部落区長、消防団等で構成)までに細部にわたる具体案をまとめ、雪害に対処することにしてはいる。検討されている計画案は、

- 雪災地における青果物の確保
- 散落地における急患搬送体制及び医薬品の備蓄
- 鉄道の除雪協力
- 村道主要除雪路線の確保
- 住居密集地の除雪
- 等各方面にわたっているが、道路除雪については次のとおり

▽道路交通の確保
 国、県道の除雪協力体制の強化
 国、県道の冬期交通確保は、心のなごみ、出動に備えて雪すべき道路であるが、除雪の除雪最大能力は、積雪三センチで三十五キロメートル、六十センチでは二十

特に交通確保を必要とする主要路線を、第一種、第二種除雪道路とし、地域住民の協力を得て除雪にあたる。

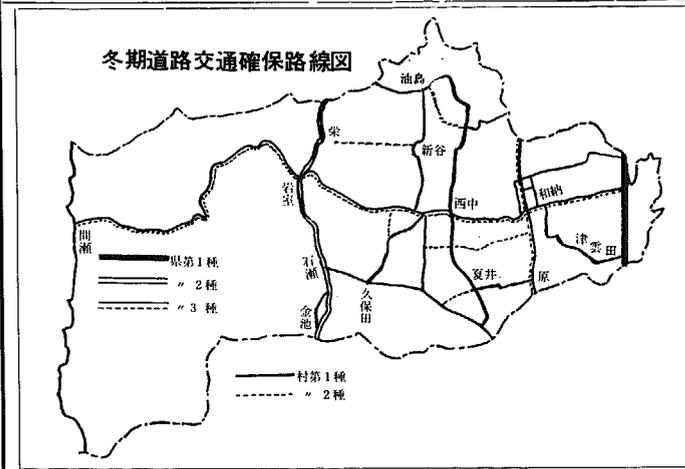
▽第一種路線
 一車線の交通を確保し、要所に待避所を設ける。異常な降雪以外は交通を確保する。

▽第二種路線
 一車線の交通を確保するよう努力するが、状況によっては一時交通不能となっても、やむを得ないものとする。

ブルドーザー出動準備OK
 これらの除雪作業は、役場のブルドーザー、ロードメシナの二台の機械力を中心に行うが、出動に備えて整備も念入り行われていて、これらの機動力の一日の除雪最大能力は、積雪三センチで三十五キロメートル、六十センチでは二十

合せた雪下しの協力をおねがいます。
 (県除雪計画路線)
 第一種 一日一千台以上路線で二車線確保が原則
 第二種 一日五百十台の路線で二車線確保が原則だが状況によっては一車線待避所を設ける。
 第三種 一日五百台以下の路線で一車線待避所確保が原則。

特に住居密集地域の雪下しで作業の進展の大きな障害となるので、作業調整に



予報には雪が早いと云われておりましたが、案の定去る二十五日には本格的な冬型となり年末への足取りを更に早めた事を悟らせたのが同時に交通事故の激増も昭和四十四年を送るに何か淋しさをつけ加えておりました。兎年の終りは総べて送る事に因連して世の中が暗くなるような問題が惹起してまいりますが新年も近い事です。向寒の折皆様方には特に御体をお大事に御精進あらん事を願います。

岩室のゴミ、含有水分七五%

最近、岩室村のじん介取力をほこるこの施設も、岩室村のゴミを焼却する焼却室の搬入する一日四トンに苦情が申し込まれ「その局には申し込まれ」調査の結果、他町村にくらべて倍か、水分を含んでおる事が判明、住民に、ゴミの水切の協力をよびかけている。

岩室、巻、西川、湯東、四ヶ町村衛生組合によって、四千七百五十万円を投じて、水切の簡単な方法として、ポリバケツの底に穴をあ

たうらみはありました。出席者の皆様は常に村政発展の要因を示唆され今後の村政運営のために大きな成果を深めたものと信じております。これらの御意見御要望を基に昭和四十五年の予算編成が村民皆様の御期待に添うよう最善の努力を傾注する次第でございます。そして残る日々を悔いのない村政であるよう村民各位と祈念申上げる次第でございます。

さて、水切の多いゴミを出された場合、収集を、ことわる事もありますので協力をお願いいたします。

村長雑感

横山喜八郎

譲渡所得の改正
 十月広報にも掲載しましたが譲渡所得の課税方法が大巾に改正されました。万が一お困りのことがございましたら、巻務課、資産課又は役場務課に御相談下さい。

二、間瀬地区は十月一日、岩室地区は十月二十三日、十月二十四日御足労をいただき一通り終了しました。

自賠責が村外業者のため案内に接しない方、或いは都内のつかなった方、あるいは二割程度の未更新がありますので左記日程を設けました。必ず更新して下さい。

一、日時 十二月五日(金) 午前八、〇〇～午後八、〇〇
 六日(土) 午前八、三〇～午後五、〇〇
 八日(月) 午前八、三〇～午後八、〇〇
 九日(火) 午前八、三〇～午後八、〇〇
 場所 岩室村役場

岩室温泉集中加熱所 職員募集一名

一、岩室村に居住している人

農村住宅改善相談会(1級建築士が無料相談)

2月5日(土)午後2時から 巻務課

高島さんナンバーワン

「米つくり岩室村」

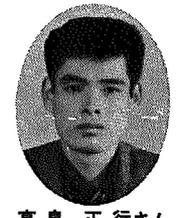
多収・銘柄・団体賞を独占

今年産米、米つくり岩室奨励品種でないレイメイ等村一位をきめる多収穫競争の東北系が独占していること会の表彰式が十一月十八日と注目されている。役員第一会議室で、関係者多数出席して行われた。天候の関係で政府発表自主流通実績は前年にくらべると大巾に減収がみられる。十月末現在で約一十二万七千四百七俵に対して、十(高橋)さんが獲得、見事に米万二千二百俵の実績となつていて、表彰は多収賞、銘柄賞など分けて行なつたが多収賞のほとんどが県の

△多収賞の部 七七一キロ (高橋) 二位 玉木 一七二キロ (油島) 大関恒男 六九〇キロ (高橋) 三位 小川信司 (西船越)、大関洋一 (高橋)、成田正衛 (横曾根)

△銘柄賞の部 二位 高島正行 (高橋) 三位 高島正行 (高橋) 四位 高島正行 (高橋) 五位 高島正行 (高橋) 六位 高島正行 (高橋) 七位 高島正行 (高橋) 八位 高島正行 (高橋) 九位 高島正行 (高橋) 十位 高島正行 (高橋)

△団体賞の部 高橋研究会(平均六一四キロ)



高島正行さん

「1970年世界農林業センサス」が昭和45年2月1日現在で、全国のすべての農家および林家を対象とし実施されます。調査員が各家庭を訪問調査をいたしますので協力下さい。この調査は農林業の国勢調査といわれるほど重要で、みなさんの家庭を1戸ごとに調査されます。わが国の農林業につきましては米の過剰問題、構造改善の諸問題、地域計画の問題等、きわめて解決困難な大きな問題が山積みしています。こうした多くの問題をかかえた現下の農政を推進するに当たっては、各種の計画が必要となります。計画をたてるには、精緻かつ適確な統計資料を必要とすることはいうまでもありません。

こうした時期に1970年世界農林業センサスを実施することは今後の農林行政の推進に寄与することがきわめて大きいと考えられ、まことに意義深いものがあるといえます。また現在岩室村でも総合開発審議会が、あすの村農林業のあるべき姿をえがいています。これらの資料として重要なポイントとなってきます。この調査が、10年先の村の姿をきめるといっても過言でないでしょう。

尚、各家庭ごとの調査用紙の公表や税関係に使用することは、かたく禁じられています。

2月1日 農業の国勢調査 農林業センサス実施

調査の主な内容
 その内容も多岐にわたっていますが、つぎのとおりです。

- ☆農業事業体調査では
 - わが国農業の担い手である「農家」や協業経営などが、どのような規模ないし類型のものから成り立っているかを明らかにします。
 - 農家世帯員の就業状況を明らかにします。
 - 農業経営の実態を明らかにします。

あなたの家庭にこの調査員が訪れます

- 金池 本間哲郎、石瀬 田島隆夫、棚橋貞、岩室 石添 義雄、楠會 本間一夫、柴 徳永豊一、橋本 後藤由博、久保田 駕沢五一、猿ヶ瀬 高橋鉄男、南谷内 金川富雄、北野 八木主幸、夏井 遠藤福太郎、西中 竹内正美、湯上 藤田幸一、西長島 山県信栄、白鳥 堀越徳治、横曾根 菅井金四郎、西船越 大森正一、新谷 山崎敏英、油島 阿部清、高畑 岡島一雄、高橋 大関幸男、富岡 子正義、津雲田 月岡登、原 大岩仁、和納 相田正敏、海津一也、田中勝衛、田中芳男、星野庚造、相沢征支郎、早川喜三郎、石川利衛、間瀬 荒川藤雄、八木富美子、田中 中子、巻田喜次郎、柏木チイ、阿部カツ、荒川ミヨ